

令和3年4月1日付け採用  
高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
筆記審査（専門教養）

特別支援学校 中学部・高等部 社会

|      |  |     |  |
|------|--|-----|--|
| 受審番号 |  | 氏 名 |  |
|------|--|-----|--|

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

| 受 審 番 号 |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| 万       | 千 | 百 | 十 | 一 |
| 1       | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ●       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ● | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ● | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ● | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ● |

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の(例)のようにアの解答欄の○(b)をマークしてください。

(例)

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | a | ● | c | d | e | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | . | - | ± |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の「第2章 第2節 社会」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、地理的分野、歴史的分野、公民的分野、それぞれの「1 目標 (2)」である。文中の（ I ）～（ III ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。なお、空欄のローマ数字が同じ箇所には同じ語句が入るものとする。 

|   |
|---|
| ア |
|---|

〔地理的分野〕

1 目標

(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、（ I ）に考察したり、地理的な課題の解決に向けて（ II ）選択・判断したりする力、（ III ）したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

〔歴史的分野〕

1 目標

(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して（ I ）に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて（ II ）選択・判断したりする力、（ III ）したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

〔公民的分野〕

1 目標

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて（ I ）に考察したり、現代社会に見られる課題について（ II ）判断したりする力、（ III ）したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

|   | I       | II     | III   |
|---|---------|--------|-------|
| a | 多面的・多角的 | 公正に    | 思考・判断 |
| b | 多面的・多角的 | 効率を重視し | 予想    |
| c | 主体的・対話的 | 公正に    | 思考・判断 |
| d | 主体的・対話的 | 効率を重視し | 予想    |

- 2 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、地理的分野「3 内容の取扱い」の一部である。文中の（ I ）～（ III ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

3 内容の取扱い

(2) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

イ 地図の読図や作図、景観写真の読み取り、地域に関する情報の収集や処理などの（ I ）を身に付けるに当たっては、（ II ）に留意して計画的に指導すること。その際、教科用図書「地図」を十分に活用すること。

オ 地域的特色を追究する過程で生物や地学的な事象などを取り上げる際には、地域的特色を捉える上で（ III ）にとどめること。

|   | I     | II    | III      |
|---|-------|-------|----------|
| a | 手法    | 系統性   | 深入りしないよう |
| b | 地理的技能 | 生徒の実態 | 深入りしないよう |
| c | 地理的技能 | 系統性   | 必要な範囲    |
| d | 手法    | 生徒の実態 | 必要な範囲    |

- 3 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、歴史的分野「3 内容の取扱い」の一部である。文中の（ I ）～（ III ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

3 内容の取扱い

(1) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

ウ 歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、（ I ）を養うとともに、学習内容の（ II ）と定着を図ること。

エ 各時代の文化については、（ III ）事例を取り上げてその特色を考察させるようにすること。

|   | I            | II    | III  |
|---|--------------|-------|------|
| a | 学びに向かう力、人間性等 | 確かな理解 | 多くの  |
| b | 学びに向かう力、人間性等 | 習得    | 代表的な |
| c | 思考力、判断力、表現力等 | 習得    | 多くの  |
| d | 思考力、判断力、表現力等 | 確かな理解 | 代表的な |

- 4 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、公民的分野「2 内容 D」及び「3 内容の取扱い」の一部である。文中の（ I ）～（ III ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。なお、空欄のローマ数字が同じ箇所には同じ語句が入るものとする。

## 2 内容

### D 私たちと国際社会の諸課題

#### (2) よりよい社会を目指して

持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を（ I ）、課題を（ II ）する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

## 3 内容の取扱い

#### (1) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

ア 地理的分野及び歴史的分野の学習の成果を活用するとともに、これらの分野で育成された（ III ）が、更に高まり発展するようにすること。また、社会的事象は相互に関連し合っていることに留意し、特定の内容に偏ることなく、分野全体として見通しをもったまとまりのある学習が展開できるようにすること。

#### (5) 内容のDについては、次のとおり取り扱うものとする。

イ (2) については、身近な地域や我が国の取組との関連性に着目させ、世界的な視野と地域的な視点に立って（ II ）させること。また、社会科のまとめとして位置付け、適切かつ十分な授業時数を配当すること。

|   | I   | II | III   |
|---|-----|----|-------|
| a | 育成し | 探究 | 知識・技能 |
| b | 働かせ | 解決 | 知識・技能 |
| c | 働かせ | 探究 | 資質・能力 |
| d | 育成し | 解決 | 資質・能力 |

- 5 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の（ I ）～（ III ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。 オ

- 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。  
 (2) 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開するこの教科の基本的な構造に留意して、（ I ）教科の目標が達成できるようにする必要があること。
- 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。  
 (2) 情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に調べ分かれようとして学習に取り組めるようにすること。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、（ II ）の指導にも留意すること。
- 3 第2の内容の指導に当たっては、（ III ）第14条及び第15条の規定に基づき、適切に行うよう特に慎重に配慮して、政治及び宗教に関する教育を行うものとする。

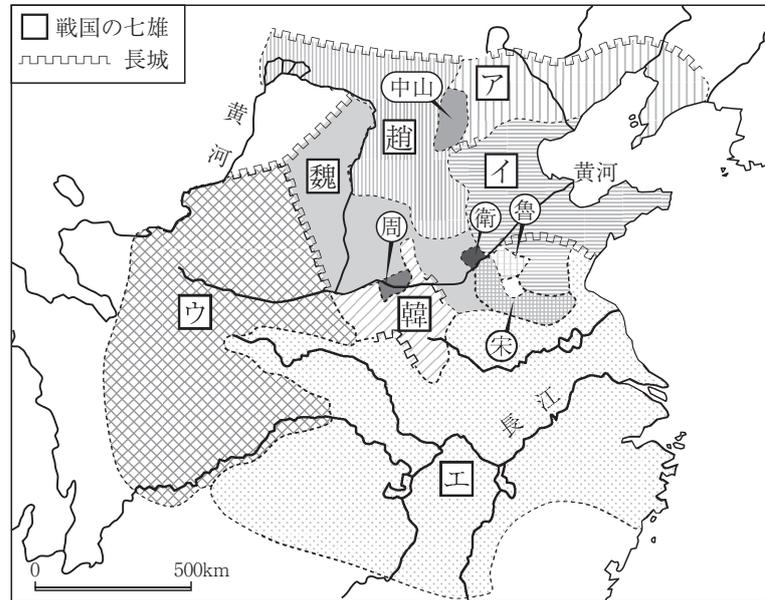
|   | I     | II      | III   |
|---|-------|---------|-------|
| a | 各分野の  | 情報モラル   | 教育基本法 |
| b | 各分野の  | 情報リテラシー | 学校教育法 |
| c | 全体として | 情報モラル   | 教育基本法 |
| d | 全体として | 情報リテラシー | 学校教育法 |

第2問 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の写真は、エジプトで発見されたロゼッタ・ストーンである。この石板に刻まれ神聖文字（ヒエログリフ）解読の手がかりとなった文字として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a キリル文字
- b アラム文字
- c ソグド文字
- d ギリシア文字

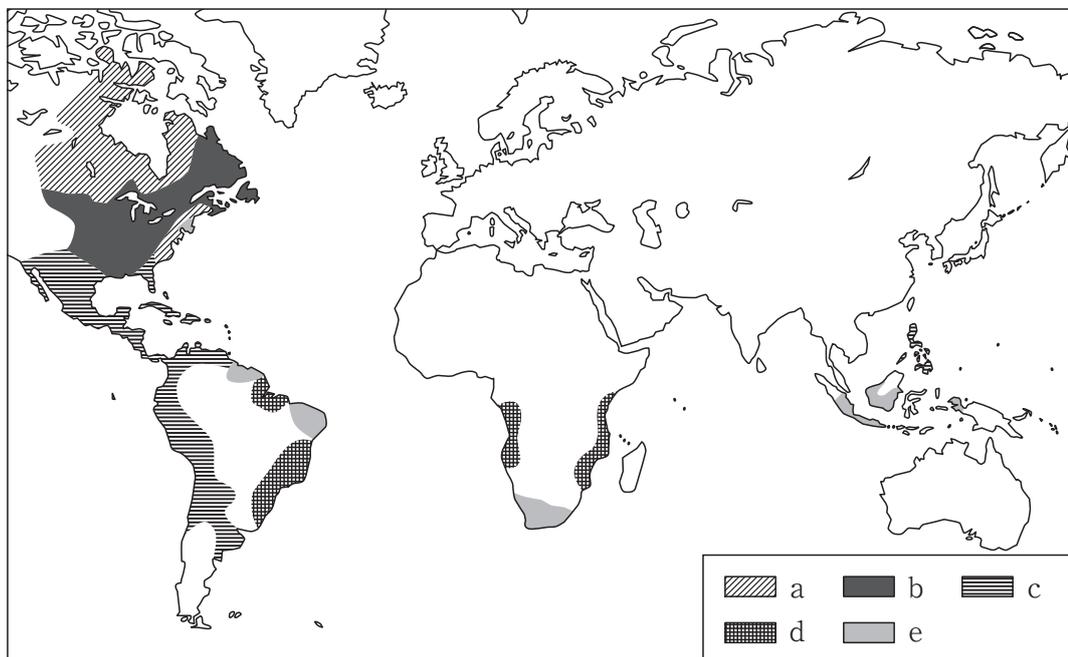
- 2 次の地図は、戦国時代の中国を示したものである。地図中のア～エに入る国名の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。



- a ア 燕    イ 楚    ウ 秦    エ 齊  
 b ア 燕    イ 齊    ウ 秦    エ 楚  
 c ア 秦    イ 燕    ウ 楚    エ 齊  
 d ア 秦    イ 齊    ウ 燕    エ 楚
- 3 イスラーム世界について述べた文として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a スンナ派に属するイスマール派はチュニジアにファーティマ朝を樹立し、エジプトを征服して新都カイロを建設した。  
 b ウマイヤ朝では、征服地から土地に対する税であるジズヤや、人頭税であるハラージュが徴収された。  
 c サラディンは、エジプト・シリアを統一すると共に、第4回十字軍を破りイェルサレムを奪還した。  
 d アッバース朝では、騎馬と弓矢に秀でたトルコ人がマムルークとして組織され、カリフの親衛隊として利用されるようになった。

- 4 次の地図は、17世紀後半のヨーロッパ諸国の植民地を示したものである。オランダの植民地を示したものとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。



- 5 次の文は、ナポレオンについて述べたものである。文中の  と  に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

フランス皇帝の座についたナポレオンは、1805年に  の戦いで神聖ローマ帝国とロシアの連合軍を破り、ヨーロッパ大陸の大部分を支配すると、大陸封鎖令を発しイギリスとヨーロッパ諸国の貿易を禁じた。1812年、大陸封鎖令を無視して貿易を続けていたロシアに遠征するも敗退、さらに  の戦いにも敗れエルバ島へ流された。

- |   |            |            |
|---|------------|------------|
| a | X…アウステルリッツ | Y…ワーテルロー   |
| b | X…アウステルリッツ | Y…ライプツィヒ   |
| c | X…ライプツィヒ   | Y…アウステルリッツ |
| d | X…ライプツィヒ   | Y…ワーテルロー   |

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の3つの史料を読み、続く(1)～(4)の問いに答えなさい。

史料1

(天平十五年五月)乙丑、詔して曰く、「聞くならく、墾田は養老七年の格に依りて、限満つる後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る、と。今より以後、任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、咸悉くに永年取る莫れ。

史料2

尾張国郡司百姓等解し申し、官裁を請ふの事

裁断せられむことを請ふ、当国の守藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の官物、并せて濫行横法三十一箇条の愁状

一、裁断せられむことを請ふ、例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加徴せる正税四十三万千二百四十八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事…

(中略)

一、裁断せられむことを請ふ、守元命朝臣、京より下向する度毎に、有官・散位の従類、同じき不善の輩を引率するの事…

(中略)

永延二年十一月八日 郡司百姓等

史料3

(寛仁二年十月)十六日乙巳、今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり。…太閤、下官を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや」。又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の かけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し。満座只此の御歌を誦すべし。…」と。

(1) 史料1の時期について述べた次の文、XとYの正誤の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 

|   |
|---|
| ア |
|---|

X 天皇家により法勝寺や尊勝寺などをはじめとする六勝寺とよばれる大寺院が造営され、盛大な法会が行われた。

Y 九州で反乱が起こり、飢饉・疫病などの社会的不安のもと、天皇は仏教のもつ鎮護国家の思想によって国家の安定を図ろうとした。

a X - 正 Y - 正      b X - 正 Y - 誤

c X - 誤 Y - 正      d X - 誤 Y - 誤

(2) 史料2から読み取れることとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 郡司百姓らは、国司の不法防止のために、正税の全廃を太政官に求めている。
- b 訴えられている国司は、京から有官・散位の従者や横暴を働く者を現地に連れてきた。
- c 訴えられている国司は、3年間にわたって、規定以上の税の徴収を行っていた。
- d 3年間に正税43万1248束の利息として12万9374束4把1分を、国司は不法に徴収した。

(3) 史料3の下線部について、このような歌が歌われるようになるまでに、多くの有力貴族がこの一族によって排除されている。排除された一族のうち、橘氏に関して述べた次の文、XとYの正誤の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

X 三筆の一人としても知られる橘逸勢は、安和の変で藤原良房に謀られて、失脚した。

Y 橘氏が一族子弟の教育のために設置した大学別曹は勸学院である。

- a X－正 Y－正      b X－正 Y－誤
- c X－誤 Y－正      d X－誤 Y－誤

(4) 次の写真Xの建築物の中にある仏像として正しいものを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。

X

a

b

c

d

## 2 次の文を読み、続く問いに答えなさい。

鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇を中心に進められた建武の新政は、多くの武士の不満と抵抗を生み、それらを結集し挙兵した足利尊氏が、京都を制圧し、の光明天皇を立てたのに対して、後醍醐天皇はに逃れ、正統の皇位にあることを主張した。ここから、約60年にわたった全国の内乱である南北朝の動乱がはじまった。

争乱は、南朝側で、有力武将らが戦死するなど、その形勢は不利であったが、各地に広がった争乱に南朝の権威が利用され、動乱は拡大していった。加えて、北朝内部でも争乱が起きるなど、混乱が続いた。

こうした中で、将軍となったは、分裂抗争する各地の守護大名の統制を進めるとともに、一定の政治力を保持しつづけていた公家・寺社勢力をおさえこみ、南朝の天皇が、北朝の後小松天皇に譲位する形で南北朝の合体を実現した。

文中の空欄～に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- |   |   |      |   |    |   |      |
|---|---|------|---|----|---|------|
| a | A | 大覚寺統 | B | 熊野 | C | 足利義満 |
| b | A | 持明院統 | B | 熊野 | C | 足利義持 |
| c | A | 持明院統 | B | 吉野 | C | 足利義満 |
| d | A | 大覚寺統 | B | 吉野 | C | 足利義持 |

第4問 次の1～10の問いに答えなさい。

- 1 次の図は、地形が侵食される過程を示した模式図である。模式図Ⅰ～Ⅳを地形の侵食輪廻の順に並べ替えたものとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

ア

Ⅰ

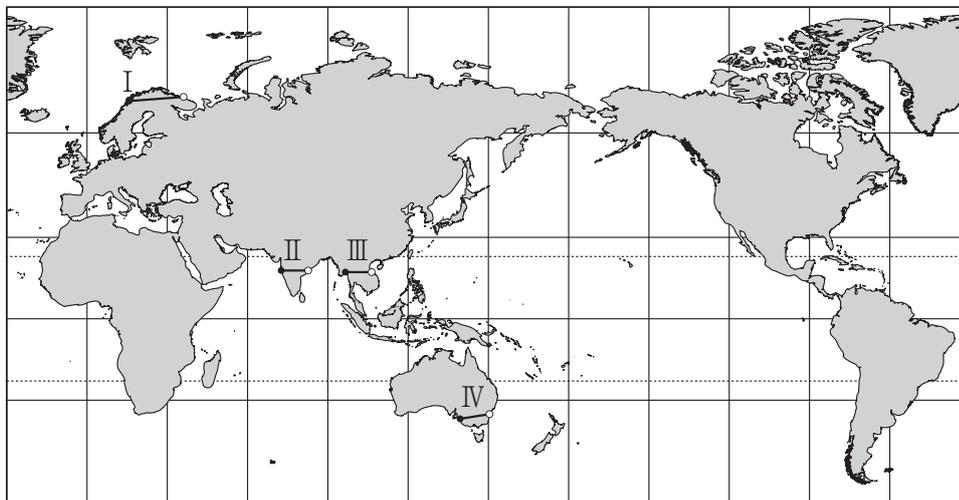
Ⅱ

Ⅲ

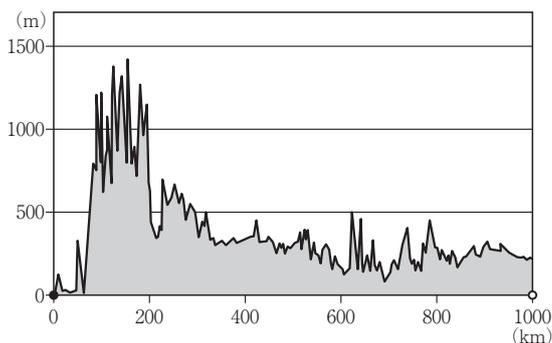
Ⅳ

- a Ⅰ → Ⅳ → Ⅲ → Ⅱ  
b Ⅱ → Ⅲ → Ⅳ → Ⅰ  
c Ⅲ → Ⅳ → Ⅱ → Ⅰ  
d Ⅳ → Ⅱ → Ⅰ → Ⅲ

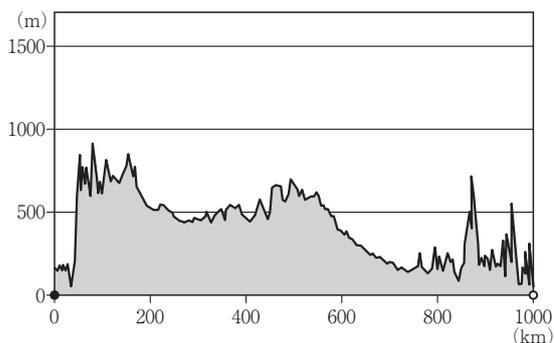
2 下のア～エの図は、次の図中に示されたⅠ～Ⅳのいずれかの線に沿って切り取った地形断面図である。図中のⅠ～Ⅳと地形断面図の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。



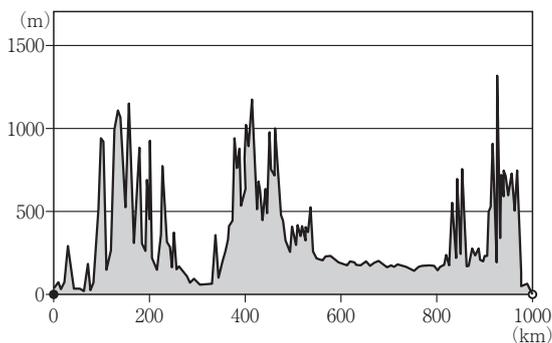
ア



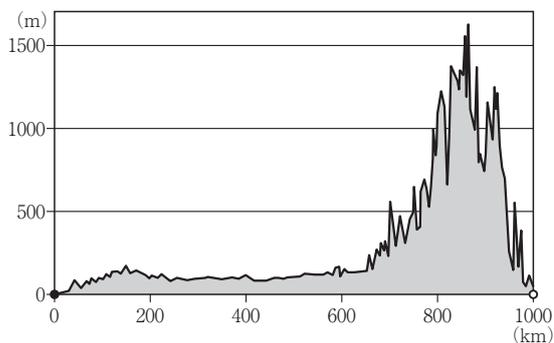
イ



ウ



エ



|   | 地図中の線 | 地形断面図 |
|---|-------|-------|
| a | Ⅰ     | ア     |
| b | Ⅱ     | エ     |
| c | Ⅲ     | イ     |
| d | Ⅳ     | ウ     |

3 次の図中の●で示された地域に共通して見られる農業形態について述べた文として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a 穀物と根菜類，飼料作物を輪作で栽培するとともに，肉牛や豚などを飼育している。
- b 牧草や飼料作物を栽培して乳牛を飼育し，生乳やバター，チーズなどを生産している。
- c 小麦や飼料作物を広大な土地で大型農業機械を用いて生産し，労働生産性が高い。
- d 現地の人や移民を低賃金で大量に雇用するなどして，商品作物を単一耕作で大規模に栽培している。

4 小地形と人々の生活について述べた文として**適切でないもの**を，次のa～dから一つ選びなさい。

- a 扇状地では，水を得にくい扇央で集落，湧水を得やすい扇端で畑や果樹園が見られる。
- b 自然堤防上には畑・集落・道路がつくられ，後背湿地は水田として利用されてきた。
- c 三角州は低湿で水はけが悪いが，古くから農地や人口密集地となってきた。
- d 台地や丘陵は，畑や果樹園，雑木林に利用されてきたが，近年は大都市圏の郊外を中心に地形改変が進み，ニュータウンやゴルフ場などの開発が進んでいる。

- 5 次の図は、地形が立体的に見えるように描かれた地形断面の模式図である。図中に示されたX～Zの名称の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

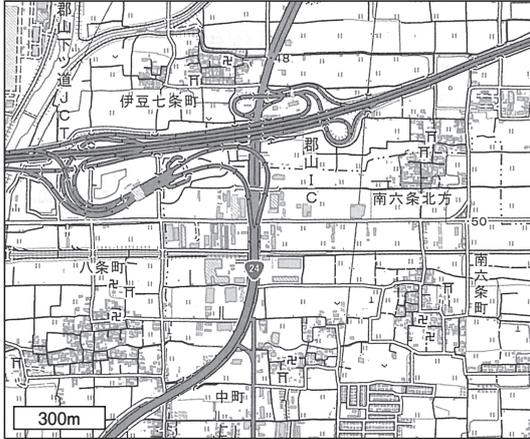
オ

|   | X    | Y    | Z    |
|---|------|------|------|
| a | メサ   | ビュート | ケスタ  |
| b | メサ   | ケスタ  | ビュート |
| c | ビュート | ケスタ  | メサ   |
| d | ビュート | メサ   | ケスタ  |

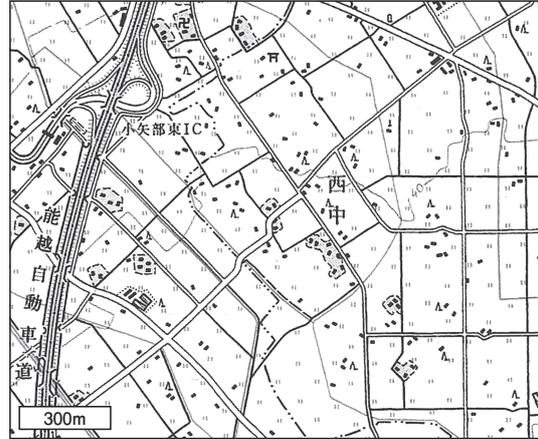
- 6 世界の代表的な都市について述べた文として**適切でないもの**を、次のa～dから一つ選びなさい。 カ

- a バビロンは、メソポタミアの古代文明の発祥地に成立した都市で、バビロニアの首都であり、世界最古の計画都市として知られている。
- b リューベクは、中世後期の北ドイツを中心に発達した自由都市で、ハンザ同盟の中心的都市である。
- c リオデジャネイロは、内陸部開発の拠点として建設された計画都市で、平面形はジェット機に似ている。
- d ワシントンD.C.は、アメリカ合衆国東部のポトマック河畔に位置し、いずれの州にも属さない連邦政府直轄地で、放射直交路型道路網をもつ計画都市である。

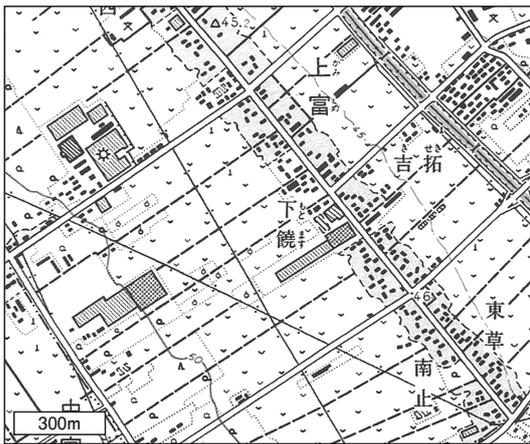
7 次のⅠ～Ⅳの図は、日本の4つの地域における2万5千分の1地形図の一部（原寸）である。各図に見られる集落の成立と形態について述べた文として適切でないものを、下のa～dから一つ選びなさい。 キ



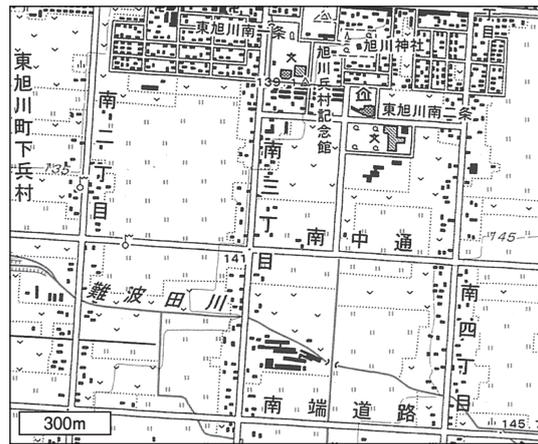
Ⅰ



Ⅱ



Ⅲ



Ⅳ

- a Ⅰは古代に条里制が取り入れられ、整然とした土地区画が行われた。格子状に直交する道路や水路網，四角形のため池，地名などに条里制のなごりがみられる。
- b Ⅱは室町時代に発達した集落で，入植した農家が自宅周辺を開墾して耕地を広げていった。水田地帯に家屋が規則的に点在し，典型的な林地村が見られる。
- c Ⅲは江戸時代に開拓された新田集落である。各農家は，開拓路沿いに短冊形の土地を持ち，道路側から宅地，耕地，森林の順に土地を配して利用した。
- d Ⅳは明治時代に北海道の開拓や警備を目的につくられた集落で，格子状の地割がみられる。アメリカ合衆国のタウンシップ制をモデルにしたものもある。

- 8 次の図中に示されたⅠ～Ⅲは、それぞれ東京都江東区、岐阜県下呂市、山口県周防大島町を指している。また、下の図のX～Zは、Ⅰ～Ⅲのいずれかの地域の人口ピラミッドである。Ⅰ～ⅢとX～Zの組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。



X

Y

Z

|   | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ |
|---|---|---|---|
| a | X | Y | Z |
| b | X | Z | Y |
| c | Y | X | Z |
| d | Y | Z | X |

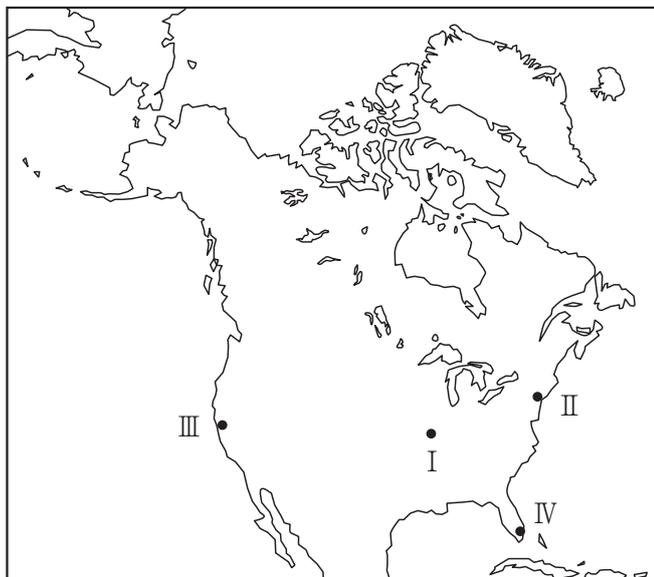
9 先進国の都市問題への対応について述べた文として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a インナーシティ問題が見られる都市では、老朽化した住宅や工場などの施設を取り壊して再開発を行い、跡地に新しい商業施設や高層住宅を建設することで、比較的豊かな人々が流入するスプロール現象と呼ばれる現象が見られる。
- b 先進国の大都市では様々な再開発が見られるが、代表例としては、郊外に副都心として開発されたロンドンのドックランズ、港湾施設の再開発として知られるフランスのラ＝デファンス、横浜市のみなとみらい21などがあげられる。
- c 環境や資源・エネルギーの消費に配慮し、公共サービスの効率性をより高めた都市の建設をめざして、都心に向かう自動車を都市郊外の駐車場に止め、鉄道やバスに乗り換えるロードプライシング制度を取り入れている。
- d 都心部は郊外に比べて気温が高くなるヒートアイランド現象が見られるが、真夏の猛暑日などには都市部で大気が不安定になり、局所的な集中豪雨が起りやすいため、洪水時に地下に雨水を貯める施設が建設されている。

10 アメリカ合衆国について、次の問いに答えなさい。

下のア～エの図は、次の図中に示されたⅠ～Ⅳのいずれかの都市の雨温図である。都市と雨温図の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

コ



|   | 都市 | 雨温図 |
|---|----|-----|
| a | Ⅰ  | ア   |
| b | Ⅱ  | ウ   |
| c | Ⅲ  | イ   |
| d | Ⅳ  | エ   |

第5問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 日本国憲法の改正手続は日本国憲法第96条で定められている。この改正手続に関する記述として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 憲法改正の公布は、天皇の名において内閣総理大臣が行う。
- b 憲法改正の発議は、衆参両院ともに出席議員の3分の2以上の賛成で行う。
- c 憲法改正の発議に際して、参議院の賛成が得られない場合は、両院協議会において3分の2以上の賛成が必要となる。
- d 憲法改正の承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際に行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。

(2) 我が国の国会の権限についての記述として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 衆参両院の議決が異なる法律案は、両院協議会でも成案が得られない場合、衆議院の議決が国会の議決となる。
- b 内閣不信任の決議権は、衆議院のみに付与されている。
- c 参議院で否決された予算案は、衆議院の出席議員の3分の2以上の賛成で再可決された場合、成立する。
- d 最高裁判所の長たる裁判官を任命する。

(3) 日本で1990年代後半以降に実施された地方分権改革の内容として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 地方議会の議決により成立する条例の内容は、法令の規定に反することも可能とされた。
- b 地方自治体の財政悪化を防ぐため、地方債の発行について総務大臣による許可制が導入された。
- c 国と地方自治体の間に対等な関係を構築するため、地方公共団体の活動は自治事務と法定受託事務に整理された。
- d 地方自治体の安定した財政運営を確立するため、三位一体の改革で酒税が地方へ移譲された。

(4) 我が国において社会・経済の大きな変動の中で唱えられるようになった新しい人権についての記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 環境権とは、人間の生存にとって必要な生活環境を享受する権利であり、これまで判例において明示的に認められてきた。
- b アクセス権とは、報道によって損なわれた利益の回復を要求する反論権などといった形であらわれ、巨大化したマスメディアを開かれたものにし、人々が広くそれに参入し利用するための権利である。
- c プライバシー権とは、私生活がみだりに公開されない権利であるとともに、自らについての情報が勝手に利用されないようにそれをコントロールする権利でもある。
- d 知る権利とは、国民は必要な情報を自由に知ることができるという権利であり、この権利のため、情報公開法が制定された。

(5) 我が国の少年法の改正についての記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 平成12年の改正により、刑事処分可能年齢が16歳以上から14歳以上に引下げられた。
- b 平成19年の改正により、14歳未満の少年の少年院送致が可能となった。
- c 平成20年の改正により、一定の重大事件の被害者等が少年審判を傍聴することができる制度が導入された。
- d 平成30年の改正により、少年法の適用対象年齢が18歳未満に引下げられた。

(6) 我が国の国会の運営に関する記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 臨時会とは、内閣が必要と認めたとき、または、いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があったときに召集される国会である。
- b 常会とは、年1回定期的に召集される国会であり、毎年1月に召集され、会期は150日間である。
- c 緊急集会とは、衆議院の解散中、国会を召集する緊急の必要が生じたとき、内閣の請求によって召集される衆議院の集会である。
- d 特別会とは、衆議院の解散による総選挙後30日以内に召集される国会であり、会期は衆参両院の一致で決定される。

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 資本主義経済に関する記述として**誤っているもの**を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a レッセ・フェールとは、自由放任のことで、原則として、政府は民間の経済活動に介入すべきではなく、経済は市場における自由競争にゆだねる方がよい、とする考え方である。
- b マニファクチュアとは、家内工業のことであり、商業資本のもとに手工業的な生産者によって分散的に行われる経営である。
- c 重商主義とは、富とは金銀や貨幣であり、この富は貿易によって得られるとする考え方である。
- d エンクロージャーとは、15世紀末から19世紀にイギリスで起こった「土地の囲い込み」のことである。地主が土地を囲い込んで牧羊を始め、農民は農地から追い出されて都市に移住し、労働者となっていった。

(2) 我が国の予算に関する記述として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 補正予算は、本予算が成立した後で、著しい経済情勢の変化などで、経済対策など追加の財政支出が必要となったときに組まれる。
- b 特別会計の予算は、特定の事業を行う場合や特定の資金を管理・運用する必要がある場合に、一般会計の予算に組み込んで作成される。
- c 財政投融资の見直しが行われ、現在では郵便貯金や年金の積立金は一括して国に預託され、運用されるようになっている。
- d 国の予算の一つである政府関係機関予算については、国会に提出して、その承認を得る必要はないとされている。

(3) 日本における環境保護についての法制度や裁判の記述として**誤っているもの**を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 限られた資源を有効に活用し、地球環境を保全していく循環型社会の形成を直接の目的とした法律が制定された。
- b 環境アセスメントに関する法律である環境影響評価法は、全ての事業を対象に、開発にともなう環境への影響の程度、範囲、環境破壊の防止策などを総合的に事前評価することを規定している。
- c 環境行政を総合的に推進することを目的とした環境基本法制定によって、公害対策基本法は廃止された。
- d 汚染者負担の原則とは、公害の発生源となる者や汚染者が、公害の防止や被害救済の費用を負担すべきであるとの原則である。

3 UNESCOに関する記述として誤っているものを，次の a～d から一つ選びなさい。

コ

- a 2018年，アメリカはUNESCOの政治化や改革の遅滞などを理由に脱退した。
- b 2019年時点で，日本が最大の分担金拠出国である。
- c 戦後の日本が初めて加盟した国連機関である。
- d 世界遺産条約は，1972年のUNESCO総会で採択された。

## 第6問

- 1 次の文は、平成31年2月に告示された「特別支援学校高等部学習指導要領」の「第4章総合的な探究の時間」の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

- 1 生徒の障害の状態や  等を十分考慮し、学習活動が効果的に行われるよう配慮すること。
- 2 体験活動に当たっては、 に留意するとともに、学習活動に応じて、中学部又は中学校までの学習を踏まえ、高等学校の生徒などと交流及び共同学習を行うよう配慮すること。
- 3 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校において、探究的な学習を行う場合には、知的障害のある生徒の学習上の特性として、学習によって得た知識や技能が  になりやすいことなどを踏まえ、各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付けながら、具体的に指導内容を設定し、生徒が  の課題を解決できるように配慮すること。

- |   |          |         |         |
|---|----------|---------|---------|
| ア | a 日常生活   | b 健康状態  | c 発達の段階 |
|   | d 学習の到達度 |         |         |
| イ | a 時期と回数  | b 安全と保健 | c 内容と場所 |
|   | d 環境と衛生  |         |         |
| ウ | a 限定的    | b 部分的   | c 断片的   |
|   | d 固定的    |         |         |
| エ | a 自ら     | b 学校    | c 地域    |
|   | d 社会     |         |         |

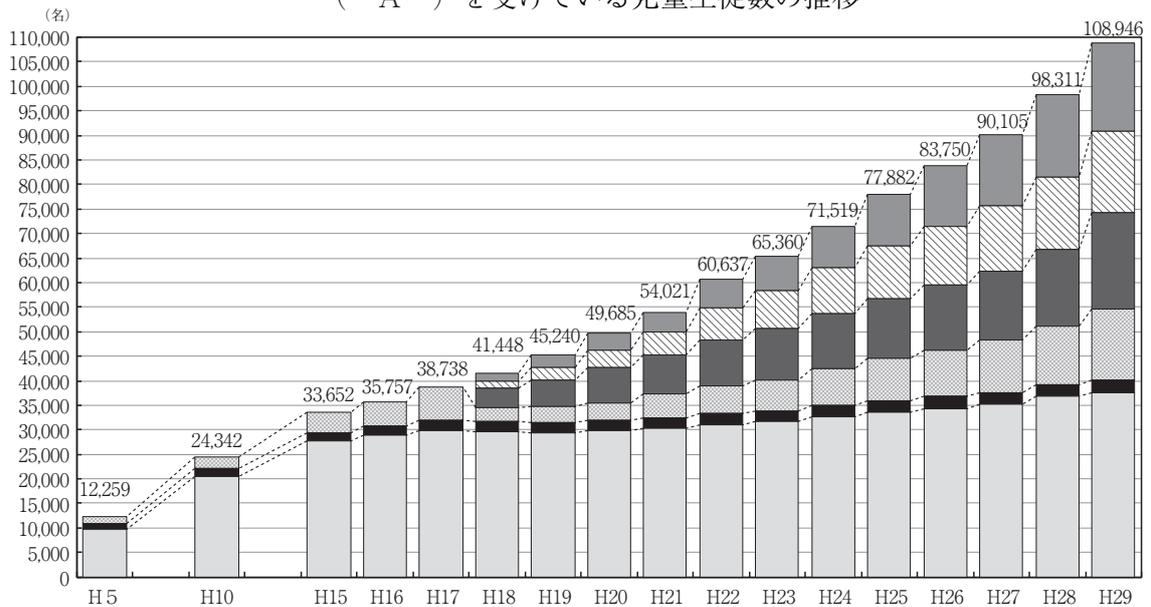


3 公立の小学校，中学校，義務教育学校，中等教育学校の前期課程において，通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が，一部の授業において，障害に応じた特別の指導を受ける制度がある。

次のグラフは，この指導形態の対象となった児童生徒数の推移と，主たる障害種ごとの人数の内訳を表したものである。

特別支援教育の現状 ～ ( A ) の現状 (平成29年5月1日現在) ～

( A ) を受けている児童生徒数の推移



(文部科学省公表資料より)

(1) この指導形態の制度の名称 ( A ) として正しいものを，次の a～d から選びなさい。

- a 取り出しによる指導
- b 個別対応による指導
- c 通級による指導
- d 特別支援学級による指導

(2) 平成18年度から対象となる障害種が追加されたが，新たな障害種の組み合わせとして正しいものを，次の a～d から選びなさい。

- a 病弱，視覚障害，聴覚障害
- b 知的障害，学習障害，自閉症
- c 注意欠陥多動性障害，情緒障害，自閉症
- d 注意欠陥多動性障害，学習障害，自閉症

(3) ( A ) の指導形態については、平成30年度より高等学校においても制度化がなされている。制度化に伴い障害に応じた特別の指導について単位認定が可能となったが、障害に応じた特別の指導を行う場合には、特別支援学校高等部学習指導要領におけるある指導領域の内容を参考することとなっている。参考とする指導領域として、正しいものを次の a ～ d から選びなさい。

- a 自立活動      b 道徳      c 特別活動      d 総合的な探究の時間



